

一般社団法人日本地震工学会

第3回 地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会
議事要旨

1. 日 時 平成23年12月21日(水)10時～12時

2. 場 所 建築会館304会議室

3. 議 題

(1) 地震工学会年次大会オーガナイズドセッション報告

(2) 今後の活動について

(3) 話題提供

地質地盤情報協議会の活動について(産総研・栗本史雄氏)

(4) その他

4. 配布資料

ESG 3-1 第2回ESG研究委員会議事要旨案

ESG 3-2 2011年地震工学会年次大会オーガナイズドセッション報告

ESG 3-3-1 地質地盤情報協議会の活動と法整備について

ESG 3-3-2 第19回地質調査総合センターシンポジウム案内

ESG 3-3-3 第17回地質調査総合センターシンポジウム「地質地盤情報の法整備を目指して」

ESG 3-3-4 地質地盤情報の整備・活用に向けた提言

5. 出席者

*委員長 山中(東工大)

*委員 川瀬(京大防災研), 清木(宇都宮大), 大井(防災科研), 南雲(東電設計), 東(電
中研), 植竹(東電), 片岡(国総研), 早川(清水建設)

*オブザーバー 栗本(産総研)

6. 議事概要

(1) 前回議事要旨案が確認された。

・第10回サイスミックマイクロゾーニング・リスク軽減に関する国際ワークショップについては開催が延期されたことが報告された。

(2) 地震工学会年次大会におけるオーガナイズドセッション報告

・東委員より、資料3-2に従ってオーガナイズドセッション開催報告がなされた。

・オーガナイズドセッションで3件発表されたK-NET 築館の強震記録について、その取扱いに関して別のセッション発表で注意喚起があったことが報告された。地震計台が動いた影響が記録に入っているとのことである。また、K-NET 築館地点は今後移設が予定されているとの報告があった。

(3) 今後の活動について

・山中委員長より、委員会の最終アウトプットとして講習会等を行うことが求められていることが報告され、その一環として来年度夏ごろにワークショップを開催する案が示された。国外からも研究者を招聘することとし、招聘者について意見が出された。次回の委員会において引き続き計画案を議論することとした。

- ・K-NET 築館の強震の原因究明に関して、今後何かアクションがあれば委員会としてサポートは可能であることが示され、次回の委員会においてオーガナイズドセッションで報告された研究発表のその後の進捗について話題提供をしてもらうこととした。
- ・その他、今後も委員各位から意見があれば適宜議論することとなった。

(4) 話題提供

- ・産総研栗本氏から「地質地盤情報協議会の活動と法整備について」と題して話題提供をいただいた。日本学術会議での議論の状況、法整備に向けた状況、データ提供側のインセンティブの課題等について質疑応答があった。

(5) その他

- ・川瀬委員より、WCEEにおいてESG特別セッション開催は認められなかったこと、ただし一般セッションで関連論文があれば **Engineering Seismology** セッション内にグループをつくることが報告された。
- ・次回は3月22日(木) 10:00～ (建築会館予定)。

以上